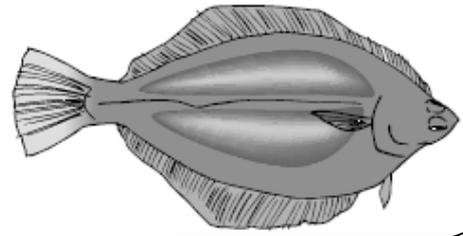


マコガレイ

Pleuronectes yokohamae

地方名
くろがしら（八戸、陸奥湾）、まがれい（陸奥湾、日本海）



生態

寿命：約10年
 成熟：2歳（オス体長15.4cm、メス体長13.0cm）以上
 産卵期：12月～翌年4月陸奥湾では12月～翌年1月、太平洋では1月～3月、日本海では3月～4月
 産卵場：水深10～60mの砂泥域
 分布：北海道中部以南から大分付近、朝鮮半島南部、東シナ海
 生態：通常は水深100mより浅い砂泥域に生息。食性は珪藻類、橈脚類、貝類、アミ類、ゴカイ類、甲殻類。

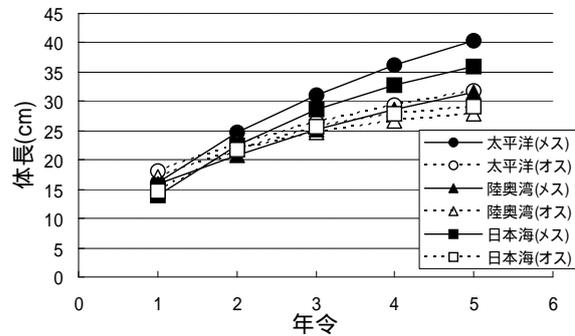


図 青森県におけるマコガレイの成長

主な漁業

底建網、刺網、底びき網で漁獲。主漁期は太平洋と陸奥湾では12月～翌年2月、日本海では1月～4月。

資源評価

県全体の漁獲量の推移を右に示した。資源評価は地区別に5ページに示した。

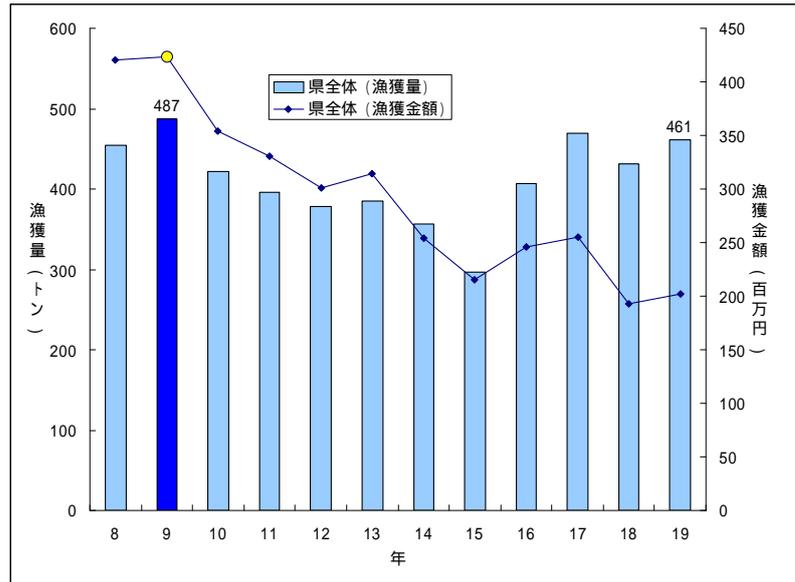


図 青森県マコガレイの漁獲量及び漁獲金額の推移

資源を上手に利用するために

- マコガレイ資源管理計画（平成13年3月）
- ・全長20cm未満個体の再放流、かれい刺網の目合制限（3.5寸以上）を定めている。
 - ・上記の取り組みを継続することが必要である。

トピックス

本県に分布するマコガレイは、産卵期が太平洋、陸奥湾、日本海でそれぞれ異なり、遺伝的にも異なることが分かってきている（日本海区水産研究所）。

海域別漁獲量及び漁獲金額

太平洋では平成17年以降は200トン以上で推移し、平成19年は240トン、津軽海峡では平成9年の109トンを中心に徐々に減少し、平成19年は59トン、陸奥湾では平成16年以降は100トン前後で推移したが、平成19年は138トンまで回復、日本海では平成5年の75トンを中心に増減を繰り返しながら徐々に減少し、平成19年には43トンであった。

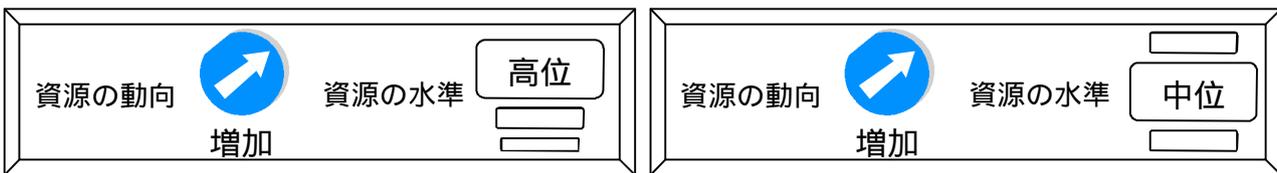
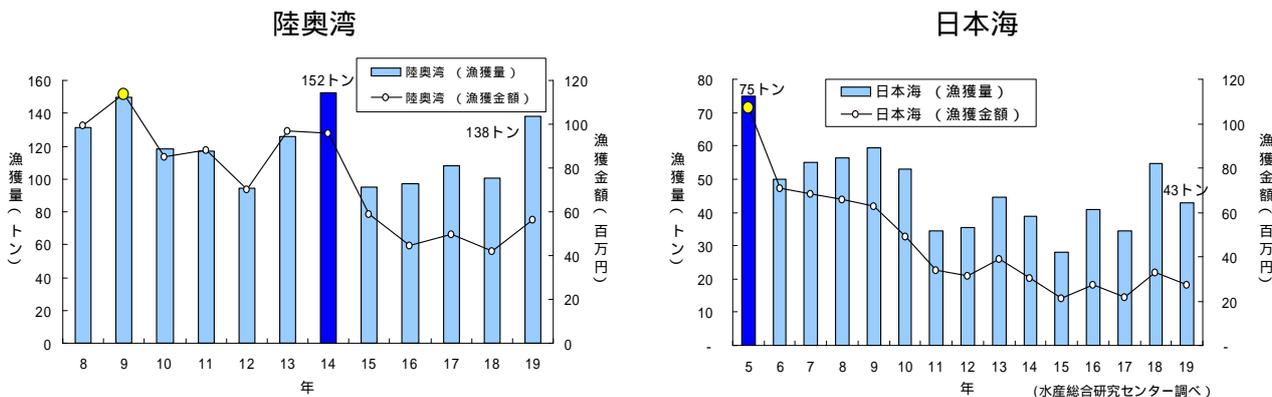
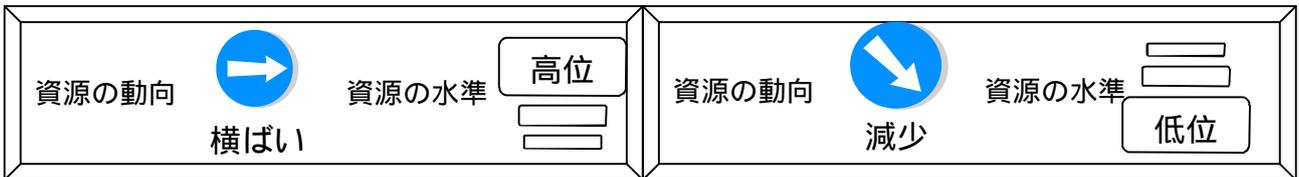
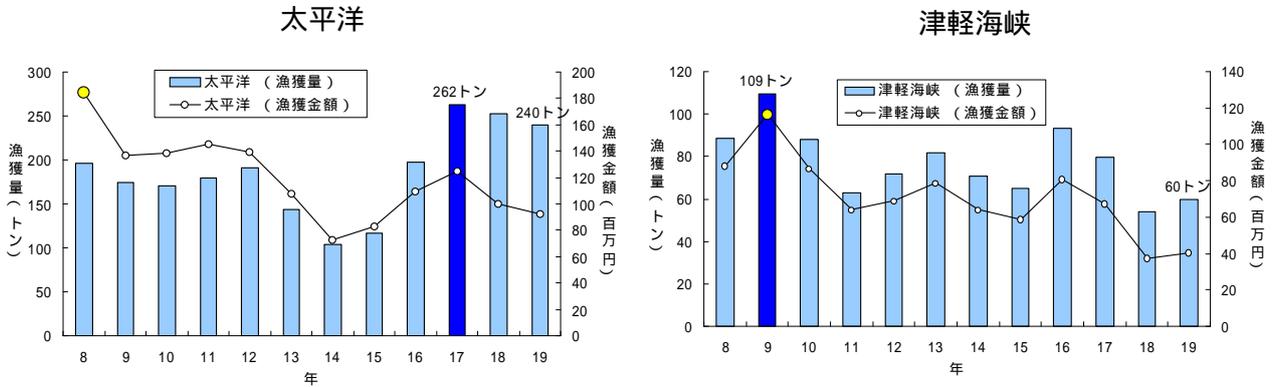


図 青森県マコガレイの海域別漁獲量及び漁獲金額の推移